

20年以上も変化のなかった、CT画像の生成の手法(画像再構成方法)を一新しました。先進的な技術である**逐次近似画像再構成法: AiSR (繰り返し演算方式)**を搭載することとしております。従来X線量(被ばく)を低減するとCT画像は劣化してしまう関係に有りましたが、**AiSR**を採用することで、半分の被ばく(X線量)でもしっかりとした画像の取得が可能になり、低被ばく検査の実現が可能です。



必要X線量半分の画像

全体的のぶつぶつとしたノイズが確認できる。
→X線不足=良くない画質



ぶつぶつとしたノイズが低減されている
→良い画質

